

令和2年3月19日

令和元年度病害虫発生予察注意報（第5号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：タマネギベと病
2. 対象作物：タマネギ
3. 対象地域：県北部
4. 発生量：多
5. 発生時期：2～6月
6. 注意報発表の根拠

タマネギベと病については本年2月6日に病害虫防除技術情報（第1号）を発表したところであるが、その後も以下のとおり発生が増加している。

- 1) 3月中旬の県北部におけるタマネギベと病越年罹病株（写真1）の発生ほ場率は10%（平成6%）と平年に比べてやや高く、発病株率は0.12%（平成0.04%）と平年に比べて高い。ともに過去10年と比べて2番目に高い（表1）。
- 2) 3月中旬の県北部におけるタマネギベと病二次感染株（写真2）の発生ほ場率は17%（平成6%）、発病株率は0.58%（平成0.10%）と平年に比べて高い。ともに過去10年と比べて最も高い（表2）。

表1 県北部におけるタマネギベと病越年罹病株の発生（3月中～下旬調査）

	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和2年 (本年)	平年
発生ほ場率(%)	9	3	3	11	3	7	0	8	9	6	10	6
発病株率(%)	0.14	0.01	0.04	0.03	0.01	0.01	0	0.07	0.03	0.05	0.12	0.04

注)調査場所:和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町
平年:平成22～31年の平均

表2 県北部におけるタマネギベと病二次感染株の発生（3月中～下旬調査）

	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 31年	令和2年 (本年)	平年
発生ほ場率(%)	6	6	13	6	6	10	10	3	2	3	17	6
発病株率(%)	0.45	0.02	0.07	0.03	0.25	0.10	0.02	0.01	0.01	0.01	0.58	0.10

注)調査場所:和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町
平年:平成22～31年の平均

7. 防除上の注意事項

- 1) 前年に発生が多かったほ場は、本年も発生しやすいので注意する。
- 2) ほ場をこまめに見回り、越年罹病株の早期発見と抜き取りを徹底する。二次感染株の発病葉についても、出来るだけ除去する。抜き取った株や除去した葉は袋に入れ、ほ場の外に持ち出して適切に処分し、早急に薬剤散布を行う。
- 3) 発生が認められない場合においても、定期的な予防散布を徹底する。
- 4) 薬剤の感受性低下を防ぐため、同一系統の薬剤は連用しない。
- 5) 排水を良好にし、降雨による浸冠水や停滞水をなくす。
- 6) 防除薬剤は最新の登録情報（独）農林水産消費安全技術センターの農薬登録情報提供システム https://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm を参照し、適正に使用する。

和歌山県農作物病害虫防除所
電話：0736(64)2300



写真1 タマネギベと病越冬罹病株



写真2 タマネギベと病二次感染株の病斑